



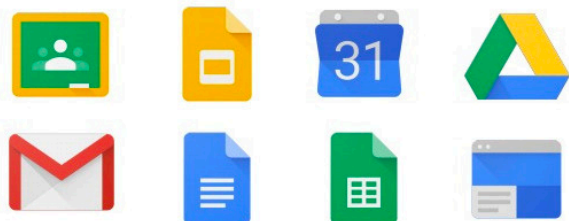
# Google Classroom

遠隔授業WG  
(担当：山本渉)



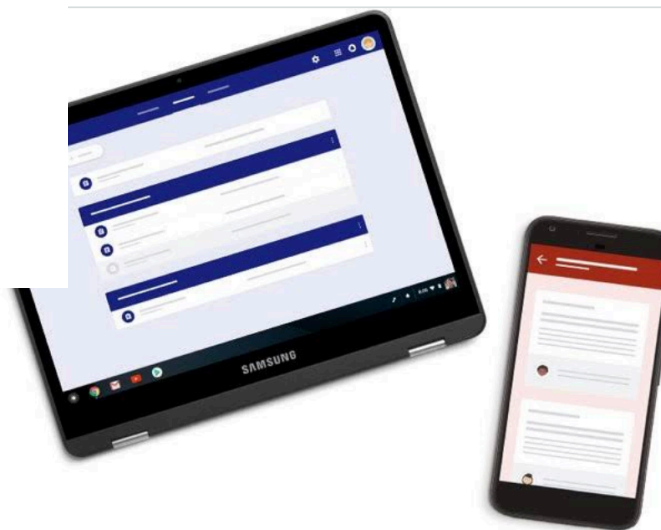
# Google ClassroomはLMSのひとつ

## G Suite for Education



データ安全性確保を行います

今月下旬より  
利用可能です



## Classroom

課題の作成、生徒とのコミュニケーション、フィードバックの提供を1か所で行えます。

[ヘルプ](#) →



# Google Classroomでできること

「課題の作成、生徒とのコミュニケーション、フィードバックの提供を1カ所で行えます」

- 教師とクラスのコミュニケーション
- 教材の呈示
- 質疑応答
- 授業中の質問への個別の回答収集
- 課題の出題、成果物の受領、採点済み成果物の返却
- 採点の集計と成績の評価

シンプルな構成が長所  
同じことはWebClassでも可能で  
しかも柔軟

1年～3年の約2千人が同時にアクセス？  
→ WebClass以外の選択肢として紹介



# このスライドに現れる用語

英語サイトでの用語	Googleによる翻訳	別訳
Class	クラス	科目, クラス
Stream	ストリーム	(掲示板? 教室?)
Teacher	教師	教員, 先生
Student(s)	生徒	学生
Classwork	授業	授業, 課題, 講義
Assignment	課題	宿題, レポート
Quiz	テスト	小テスト, 授業内テスト
People	メンバー	受講者, 履修者

名簿で管理する単位



# Google Classroomとは

まずはこちらの動画をご覧ください

<https://youtu.be/DeOVe2YV2Io>

A movie on YouTube by Google

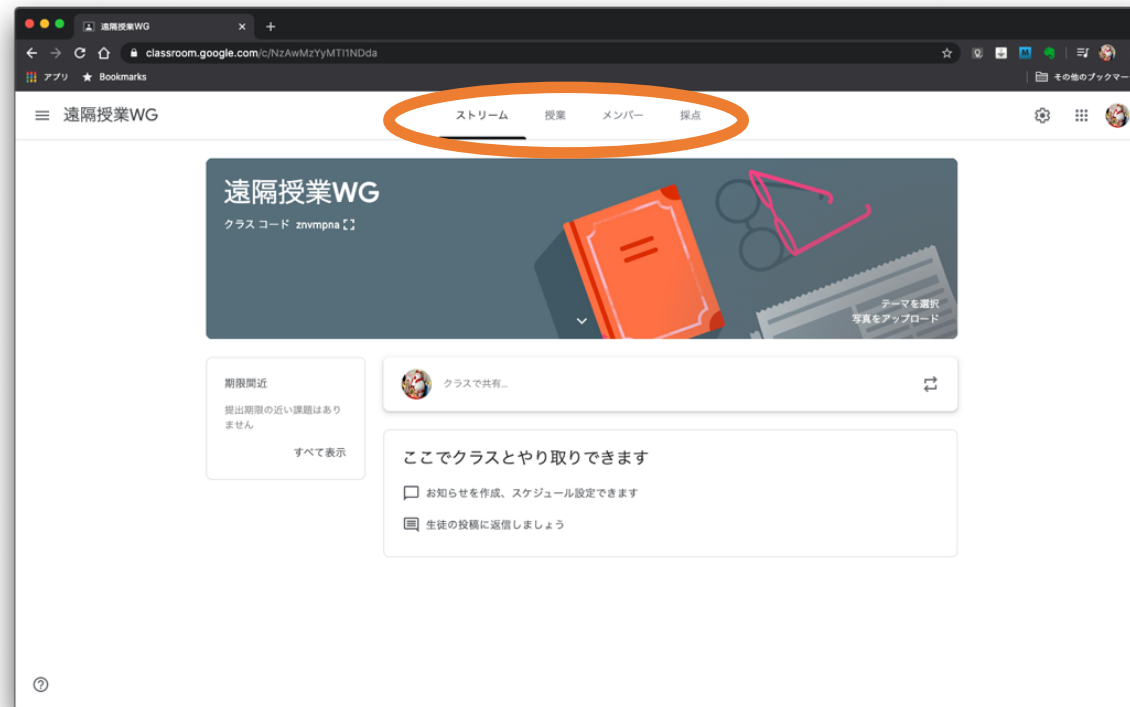


# 前の動画の要点

- Googleによるユーザ認証を受けた学生は、6文字のコードでクラスに参加できる
- パソコンのみでなく、スマホやタブレットからも利用できる（教員も生徒も）
- 生徒とのコミュニケーションは**ストリーム**に集約されている
- 教材の提供、課題の提出や評価は**授業**に集約されている
- 課題には関連する教材、URL、YouTube動画などを添付できる
- 提出課題の採点作業のインタフェースを単純化してある



# 提供する機能は4つのみ



# ストリーム

## 1. ストリームページ

クラスとやりとりをする画面

お知らせ（即時/スケジュール設定）、生徒の投稿への返信

## 2. 授業ページ

クラスに課題を出題する画面

## 3. メンバーページ

生徒の進捗状況を確認する画面

## 4. 採点ページ

提出課題を採点する画面





# ストリーム

新しい投稿が必ず  
上に来る

FacebookやTwitterの  
タイムラインと同じ

添付ファイルは後述



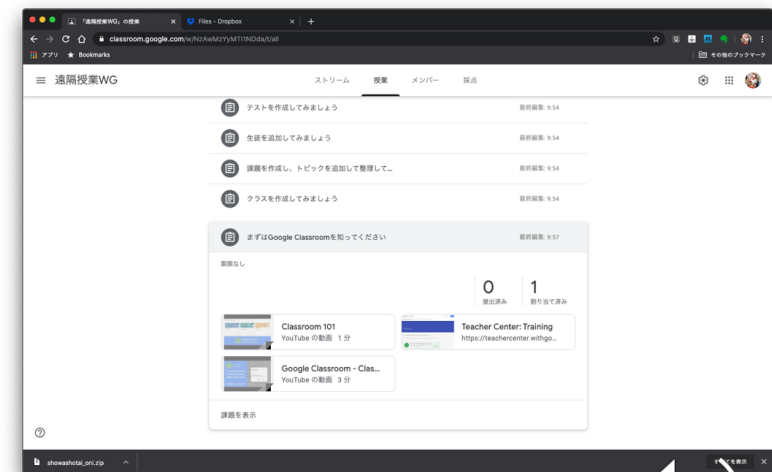
投稿先は、全員でも  
一部の生徒でも可能

日時指定の予約投稿  
の機能あり



# 授業

1. **ストリームページ**  
クラスとやりとりをする画面  
お知らせ（即時/スケジュール設定）、生徒の投稿への返信
2. **授業ページ**  
クラスに課題を出題する画面
3. **メンバーページ**  
生徒の進捗状況を確認する画面
4. **採点ページ**  
提出課題を採点する画面



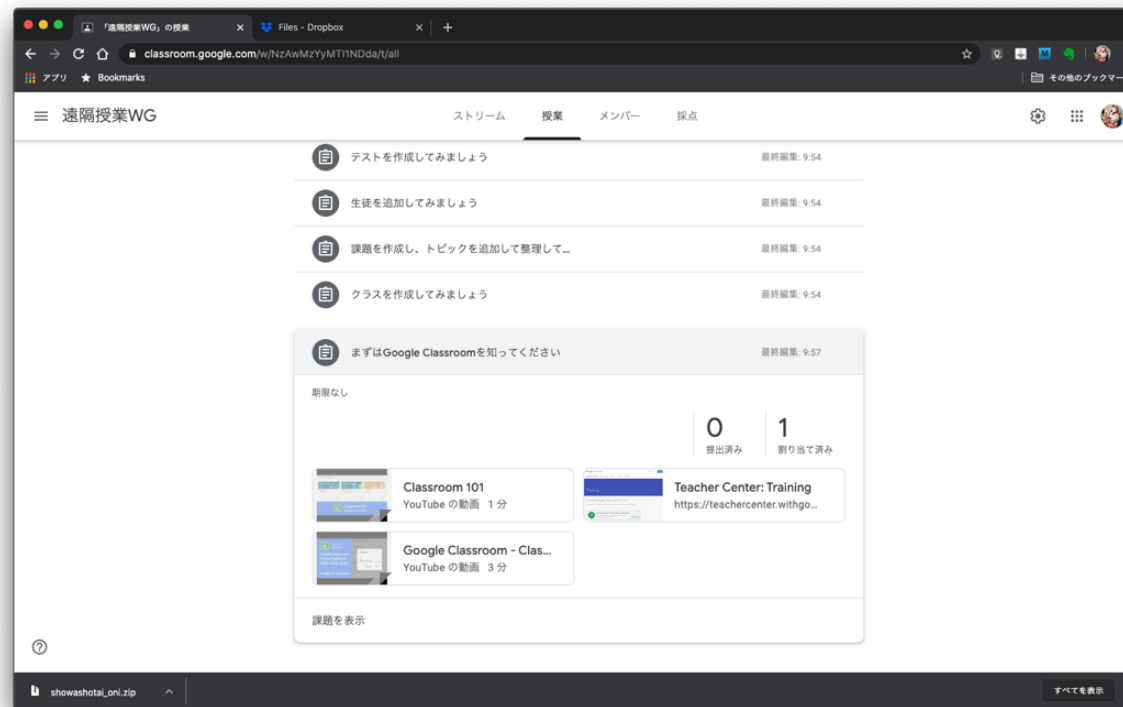
# 授業

課題は教材と出題の  
セット

テスト付き課題は教材と  
Googleフォームによる  
テストのセット

ここもデフォルトは  
投稿順に並ぶ

あとで並べ替え可能



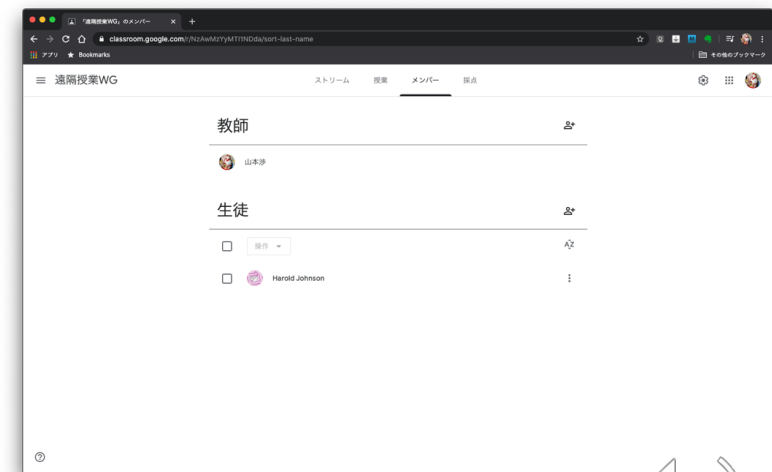
教材には様々な  
ファイルを添付  
できる

YouTubeへのリンク  
が簡単にできる



# メンバー

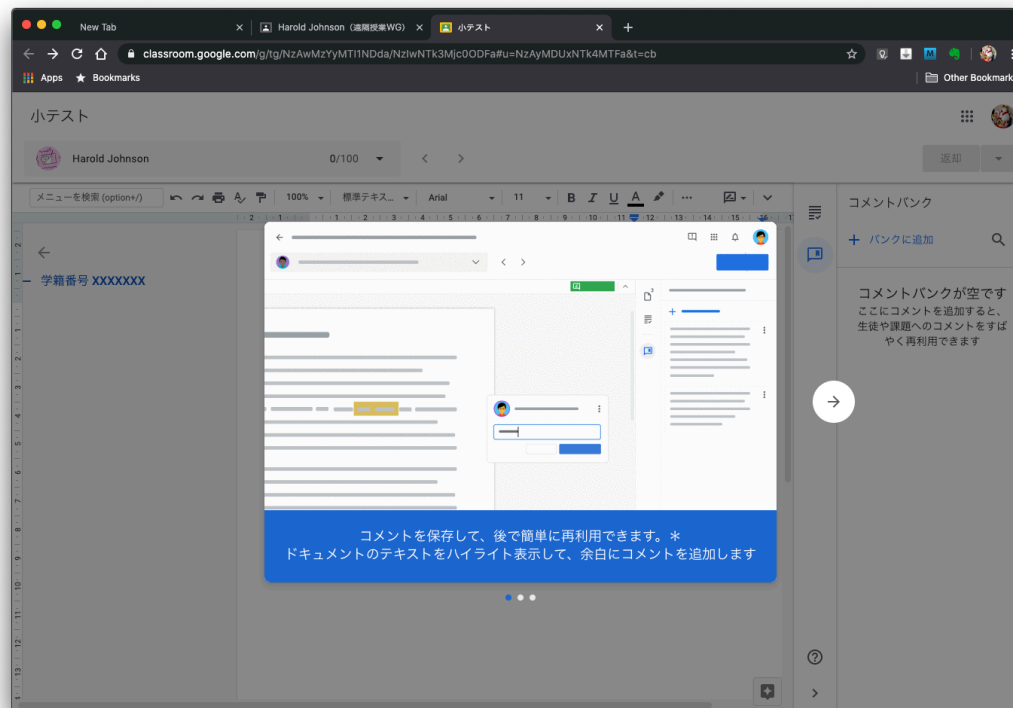
1. **ストリームページ**  
クラスとやりとりをする画面  
お知らせ（即時/スケジュール設定）、生徒の投稿への返信
2. **授業ページ**  
クラスに課題を出題する画面
3. **メンバーページ**  
生徒の進捗状況を確認する画面
4. **採点ページ**  
提出課題を採点する画面



# 採点

課題の採点をT Aに  
依頼し、その採点結果を  
教師が確認してから、  
返却することも可能

採点結果に基づく成績  
評価に、単純合計と  
荷重付き合計から選択  
可能



Google ドキュメント  
PDFファイル等は  
ウィンドウ内に表示して、  
目を通しながら採点する  
ことが可能

返却しない限り  
点数やコメントは  
生徒に公開されない

コメントの再利用  
も可能



# Classroomにおける教師のワークフロー例

教材をGoogle Driveにアップロードする

教科書の読み込みなど、指示のみでも可

理解度と到達度を評価するテストを用意する

記入式を想定？

教材に取り組んでからテストの結果を提出させる課題を作成する<sup>授業</sup>

Google Appsを使えばすべてがオンライン

クラスに課題を告知する

ストリーム

双方向性を確保する部分

質問や問いかけに答える

ストリーム

双方向性を確保する部分

取り組み状況を確認し、必要に応じてコンタクトをとる<sup>メンバー</sup>

採点する

採点

TAに採点を手伝って貰う場合でも、  
返却前に教師が採点内容を確認で可能



# 生徒のClassroomには3つの要素が現れる

## 1. ストリームページ

教師やクラスとやりとりをする画面  
生徒の投稿はコメントも含めて即時のみ

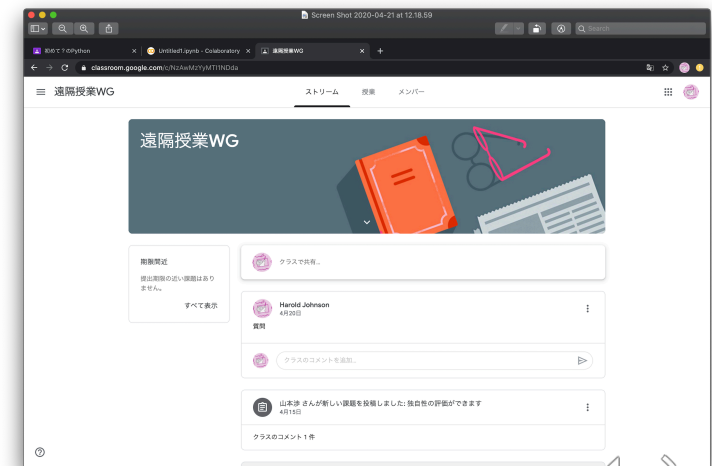
## 2. 授業ページ

課された課題への取り組み状況を  
確認できる画面

## 3. メンバーページ

先生が誰かを確認する画面

採点ページは出現しない



# Classroomを用いた出席調査について

## オンライン型

- テスト付きの課題への期限設定機能を利用し、出席を報告するテストを設ける
- ストリームへのコメントのタイムスタンプに当日中の時刻表示されるので、教師が作成した共有(発言)に時間内のコメント追加を求める

## オンデマンド型

- 課題の期限内の提出を出席とみなす
- 課題を2つ、取り組み開始の報告用と、成果物の提出用を用意する
- アクセスログを閲覧できず、未アクセスと閲覧未完了を区別できない





# 教材に用いるコンテンツについて

- **Google Drive**に置けるファイルならばクラスでの共有が可能  
テキストファイル、プログラムコードのソース、写真、パワーポイントやワードのファイル、PDF、(Zoom会議を撮影した)動画画像など
- 教科書を指定している科目で、課題の指示が短文であればストーリームに直接、あるいは課題の説明に書き込むことも可能
- 課題への提出ファイルは、動画で示されていたように、**Google Classroom**の中で表示して採点でき、マーキング、コメント付けが可能（ファイルの種類依存の機能）



# 最後に

- アメリカの初等中等教育に見られる、個別の生徒へのフィードバックを重視する教育方法の、シンプルな実装を狙ってGoogle Classroomはデザインされている
- インタフェースがシンプルなため、生徒側のUXがぶれにくい
- 非常事態なので、無理のない使い方から始めていただくとよい
- Google ClassroomはGoogleがホストしているサービスのため、同時アクセス数が増えた時に、一定の利がありそう
- もちろんWebClassも含め、使いやすいソリューションを選択して良いが、LMSは遠隔授業の実施の一助になる

以上です

